

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A福岡中央会 担い手サポートセンター)
(公 印 省 略)

緊急営農情報 3

台風 11 号接近に伴う技術対策について

気象庁によると、勢力の強い台風 11 号が九州に近づいています。9 月 6 日以降に九州北部に最接近することが予想されますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

留意事項

ほ場・農業用施設の見回りは、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまるまでは行わないで下さい。また、大雨等がおさまった後の見回りにおいても、増水した水路など危険な場所には近づかないなど、人命を最優先とした行動を徹底して事故の発生防止に努めてください。

1 水 稲

- (1) 収穫早限に達しているほ場は、可能な限り台風襲来前に収穫する。
- (2) 台風襲来前に収穫できない場合の水管理
 - ア 収穫まで 1 週間程度以内の場合
落水管理とし、収穫可能となったら速やかに収穫する。
 - イ 収穫まで 1 週間以上かかる場合
強風によるイネの脱水症状を防ぐため、台風通過時は深水管理とし、通過後数日間も、ほ場の水を切らさない程度に湛水状態を保つ。
 - ウ 冠水した場合
早急に排水を図り、冠水時間を短くする。排水後は、できるだけ新しい酸素を含んだ用水との入れ替えを実施する。
- (3) 倒伏が発生した場合、共乾施設に高水分粳が荷受けされるため、共乾施設では乾燥に時間がかかることを想定して荷受けを行う。

2 大 豆

- (1) 大雨による停滞水を、出来るだけ早くほ場外に排出するため、台風襲来前に畦溝や排水溝の整備を行う。
- (2) 本暗きよの栓を開けて排水する。
- (3) 台風通過後に、再度、畦溝や排水溝の点検・整備を行う。
- (4) 葉焼病の発生に留意し、発生に応じ対策をとる。

以上